

進学・進級に向けて、学習内容の積み残しをなくすために

～秋チェック(秋季学力測定)問題 「数学」の実施状況から考える～

各校におかれましては、年度の中間に当たる秋頃には年度前半の取組を検証し、その検証に基づき、現在は進級・進学に向けてすべきことを明確にして取り組んで(Action)いることと思います。

特に、学習内容の定着に課題がある生徒が、それぞれの課題をできる限り解消し、新年度を迎えられるように、御指導よろしくお願いいたします。

本号では、提供された「秋チェック(秋季学力測定)問題」の数学の結果から見られた傾向を紹介します。



傾向① 全国との差で中1と中2の結果を比べると、中1の結果の方が良い。

傾向② 直近の学習内容の問題の結果は良い傾向にある。

中学校1年生		中学校2年生																															
学習して間もない内容	学習して時間が経った内容	学習して間もない内容	学習して時間が経った内容																														
<p>(4) 下の表は、yがxに反比例する関係を表したものです。この反比例の比例定数を求めなさい。</p> <table border="1"> <tr> <td>x</td> <td>...</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>y</td> <td>...</td> <td>18</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>...</td> </tr> </table>	x	...	2	3	4	...	y	...	18	12	9	...	<p>(3) ギムの水位を、次のように0mを基準にして、それより水位が高いときは正の数で、水位が低いときは負の数で表します。今日の水位は+3mで、1週間前の水位は-2mでした。今日の水位が1週間前の水位からどれだけ高くなったかを求める式として正しいものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。</p> <p>ア (+3)+(-2)</p> <p>イ (+3)-(-2)</p> <p>ウ (-2)+(+3)</p> <p>エ (-2)-(+3)</p>	<p>xの変域が$1 \leq x \leq 3$のとき、yの変域はどのようになりますか、下のそれぞれの <input type="text"/> に当てはまる数を求めなさい。</p> <p>$\square \leq y \leq \square$</p>	<p>日ごとの最高気温</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>階級(℃)</th> <th>度数(日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>以上 未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>22～24</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>24～26</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>26～28</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>28～30</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>30～32</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>32～34</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>22℃以上24℃未満の階級の相対度数を求めなさい。</p>	階級(℃)	度数(日)	以上 未満		22～24	3	24～26	8	26～28	7	28～30	6	30～32	5	32～34	1	合計	30
x	...	2	3	4	...																												
y	...	18	12	9	...																												
階級(℃)	度数(日)																																
以上 未満																																	
22～24	3																																
24～26	8																																
26～28	7																																
28～30	6																																
30～32	5																																
32～34	1																																
合計	30																																

傾向③ 計算問題は、どの設問においても、ほとんどの学校で全国平均を下回る。

中学校1年生	中学校2年生
$\frac{2}{5} \times 0.6$ を計算しなさい。 $5x - x$ を計算しなさい。 一次方程式 $4x = 7x + 15$ を解きなさい。	$2 \times (-5^2)$ を計算しなさい。 $(2x + 5y) - (6x - 3y)$ を計算しなさい。 連立方程式 $\begin{cases} y = 3x - 2 \\ y = 2x + 3 \end{cases}$ を解きなさい。

意図的に復習する機会を設け、知識及び技能の定着を徹底することから始めましょう

本号では、数学の学力の定着状況の傾向について紹介しましたが、中学校における学力の定着状況は、「学年が上がるにつれて」「習ってから時間が経つにつれて」正答率が低下する傾向が、どの教科でも見られます。

現在、中3は進学に向け、これまでの学習内容の総復習に取り組んでいることと思います。中1や中2も同じように当該年度の学習内容の総復習に学校全体で取り組むことが大切です。積み残しをできる限り少なくして進級させようとする教師側の意識が問われています。